

2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 4月 22日

所属	サービス創造学部	職名	教授	氏名	坂井 恵
研究課題	アカウントビリティ研究（サービス創造教育との関連を含む）				
研究キーワード	アカウントビリティ、会計、監査、内部統制	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

過年度より行ってきたアカウントビリティの概念枠組みの研究成果をまとめ、さらに新たな観点から当該枠組みを発展させるための研究を進めることができた。

しかし、上記の概念枠組みを現実の会計実践に適用して実証する研究については遅れが生じ、当初予定した通りには進めることができなかった。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

「協働におけるアカウントビリティの類型—Barnard（1938；1948）の組織概念からの接近—」『経営における『技術』概念の変遷—AI時代に向けて—経営学史学会年報 第28輯』2021年5月。

【著書・論文（査読なし）】

【学会発表等】

3. 主な経費

書籍及び専門誌（約115千円）、学会費（約64千円）、プリンタ等の備品（約54千円）が経費の主たる内容である。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし。

（本文は2ページ以内にまとめること）